

日本臨床検査自動化学会医療情報委員会  
平成 29 年度第 2 回委員会議事録

1. 日時：平成 29 年 9 月 21 日（木）12:58～13:59
2. 場所：パシフィコ横浜・会議センター 5 F 513 号室  
（日本臨床検査自動化学会第 49 回大会）
3. 出席者：和田委員長、片岡、中島、萩原、畑中、下坂、清水、山田、油野、  
瀬戸山、湯地、長原（順不同、敬称略）  
欠席者：前田、本田、真鍋（順不同、敬称略）  
陪席者：康理事長
4. 配布資料  
資料 1：前回議事録  
資料 2：IHE 臨床検査部門 活動報告
5. 議事：
  - 1) 前回議事録の確認  
和田委員長より資料 1 に基づき説明が行われ、その後、委員へ発言を求めたが意見はなかった。
  - 2) 報告事項  
和田委員長より、理事会および学術委員会委員長会議について報告があった。  
また、7 月 27 日に開催された医療情報委員会特別委員会について報告があった。  
これらの報告に対して委員からの発言はなかった。
  - 3) 審議事項
    - (1) 医療情報委員会新委員について  
和田委員長より新委員として東京大学医科学研究所 湯地晃一郎 先生および獨協医科大学病院臨床検査センター 田中光昭 先生が提案され、満場一致で承認された。
    - (2) 市民公開講座について  
和田委員長より企画内容について説明があった。  
4 人の講師については概ね確定しており、さらに AI に関する講師について委員に意見を求めたところ、瀬戸山委員より東京大学 合原先生を推薦する意見が出された。

講師謝礼等の経費については学会事務局にて検討することになった。

また、広報について意見交換が行われ、ポスター、チラシ、MTJ への情報提供など広く PR することになった

(3) 平成 30 年度第 50 回大会でのシンポジウム開催について

和田委員長よりシンポジウムの開催について経緯説明があった。

また、実施に向けて片岡副委員長を中心に素案の検討を行ってことになった。

(4) ワーキンググループについて

資料 2 に基づき山田委員から IHE 臨床検査部門の活動について説明があった。引き続き、和田委員長より 3 つのワーキンググループによる今後の活動のタイムラインについて提案があった。

さらに、前回の委員会後に実施した委員へのアンケート結果をもとに、検討を行い、ワーキンググループの名称を一部修正し、各委員の所属を以下のように決定した。

① 臨床検査診断支援システム構築ワーキング

瀬戸山委員 (チーフ)、本田委員、畑中委員、湯地先生、前田委員

② 臨床検査システム標準化ワーキング

長原副委員長 (チーフ)、中島委員、萩原委員、山田委員

③ 臨床検査業務支援システム構築ワーキング

片岡副委員長 (チーフ)、油野委員、真鍋委員、下坂委員、瀬戸山委員、清水委員、山田委員、長原委員

各委員は複数のワーキンググループに所属することを可とし、さらに各ワーキンググループにおいて必要なメンバーを確保し理事会の承認を得ることとした。

(5) 機械学習について

瀬戸山委員がプレゼンを行い、機械学習についての理解を深めた。

4) その他

- ・ 次回の委員会の開催について以下のとおり案内があった。

日時：平成 30 年 4 月 6 日 (金) 午後

(日本臨床検査自動化学会第 32 回春季セミナー開催時)

場所：ホテル日航奈良

以上